



この通信の著作権は妻中学校が有します。無断で文章・画像などの転載を禁じます。

# 第78期生徒会発足！

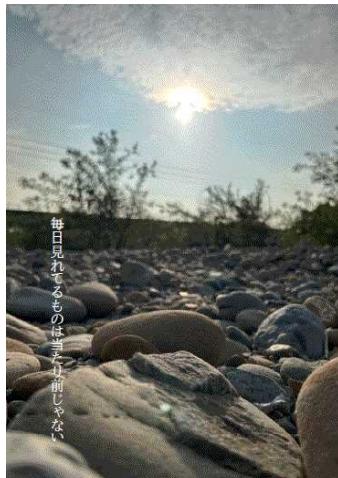


第78期・生徒会執行部



## 生徒会執行部・全校専門部認証式

あるさとSight展開催！「郷土PRポスター」制作依頼



本校では、生徒が自分で撮影した写真にキャッチコピーを載せる形式で郷土PRポスター制作にチャレンジしています。今年も、投票で選ばれた5作品を校門横にパネル掲示する予定です。

# 三真の轍

昭和59（1984）年のその日は、当時高校2年だった私たちの世代にとって非常に思い出深い日です。皆さんは、西都市に国鉄・妻線が走っていた事を、「存じでしようか。実は今年は、妻線開通から110年、そして妻線の廃線から40年目の節目の年になります。妻線最後の列車が走ったのは私が高校2年だった1984年11月30日、肌寒い晚秋の日でした。当時佐土原地区から高校に通う同級生達は妻線で通学していましたし、私たちも宮崎へ遊びに行く時は当たり前のよう

に妻線を使っていましたから、その足が本当にくなる衝撃は相当なもので、最後の日はたくさん的人が駅を埋め尽くしました。左写真▼妻線は、日本初の鉄道開通（横浜新橋）から約40年後、産業の発展や資源開発を目的に大正3（一九一四）年に開通しました。旅客はもちろん木材資源などの運搬も盛んになり、駅周辺には小市街地が形成され、西都原が国鉄の周遊指定地になると杉安駅まで路線延長。これにより、妻・穂北・杉安駅周辺には、利用客は次第に減少、まず貨物輸送が昭和46年に廃止となり、ついに昭和59年に廃線となりました▼偶然ですが、今年7月、故・弥勒祐徳先生の絵「妻線最後の列車」を贈りました。旅館はもちろん木材資源などの運搬も盛んになりました。旅館はもちろん木材資源などの運搬も盛んになりました。旅館はもちろん木材資源などの運搬も盛んになりました。

妻駅の様子（妻中50年誌より）



## 様々な取組を紹介！

### 宮日新聞記事検索ソフト「みやスタ」活用の社会科授業（3年）

11月22日、赤木先生による社会科の公開授業が行われました。趣旨は次の2点。①地方自治をより自分事として具体的に理解するため、記事検索ソフト「みやスタ」を活用すること。②授業のゴール目標を設定しておくことで、生徒達がゴールへ向かって学びを進める力を高めること。西都児湯地区的先生方が約30名ほど集まり、実際に代表生徒の感想や意見を聞きながら研修を深めました。3年生たちの作成したレポートや発表内容はとても質が高く素晴らしいかったです。



提言発表の様子



弥勒先生の描かれた「妻線最後の列車」



### 県生徒指導研究大会で「デジタルシティズンシップ教育」の取組を発表

本校では、SNSやスマートの使用における主体性を育てるため、デジタルシティズンシップ教育に取り組んでいます。11月22日に行われた生徒指導の県研究大会において、島埜内樹先生がその取組を発表されました。



学校では一人一台端末による学びが加速していますし、中学生のスマート所持率も上がっており、子どもたち一人一人がそのツールの使い手としての意識を高めておく必要があります。今後も継続的に学習をさせていきたいと思っています。

### 県租税作文で銅賞受賞

本年度の宮崎県租税作文コンクールにおいて一年の長友葵愛さんが、銅賞を受賞し、表彰されました。

